

そしゅうやきよく

蘇州夜曲

作詞 西條八十 作曲 服部良一

一、君がみ胸に抱かれて聞くは
夢の船唄 鳥の歌
水の蘇州の花散る春を
惜しむか 柳がすすり泣く

二、花をうかべて 流れる水の
明日のゆくえは 知らねども
こよい映した ふたりの姿
消えてくれるな いつまでも

三、髪にか飾るか 接吻しよか
君が手折し 桃の花
涙ぐむよな おぼろの月に
鐘が鳴ります 寒山寺



楓橋夜泊

張繼

月落烏啼霜滿天 江楓漁火對愁眠
姑蘇城外寒山寺 夜半鐘聲到客船